

TERZO SS102シリーズ

TULIPA G4 ルーフオンタイプ 取扱説明書

この度は、Terzo製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

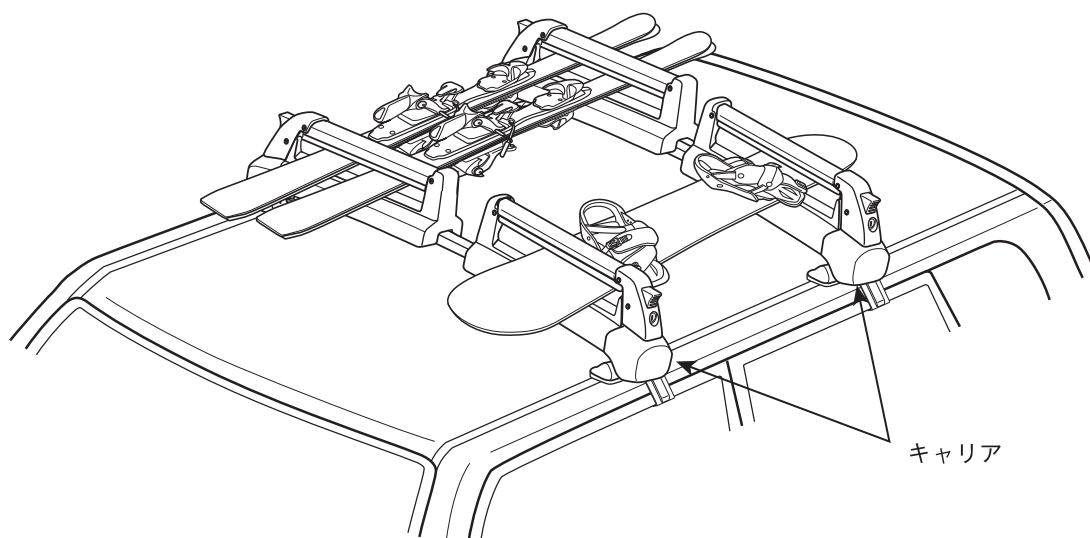
取付店様へお願い …… 取り付け前に必ず、この取扱説明書の下記項目の内容をお客様に確認して頂いてから作業を行なってください。又、取り付け後は必ず、この取扱説明書をお客様へお渡しください。

お客様へお願い …… この取扱説明書とご購入時のレシートは、大切に保管しておいてください。

※ この本文中の **⚠警告** マークと **⚠注意** マークは、
取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

⚠警告 …… 誤った使用をした際に人体に危害が生じる可能性があるもの

⚠注意 …… 誤った使用をした際に物品に破損や故障が生じる可能性があるもの



- 本取扱説明書には、チェックポイントマークが9つあります。キャリア取り付け後と積載物の積載後にチェックポイントの作業が間違いなく行なわれているか再度ご確認ください。

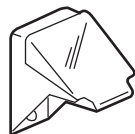
お客様へ

- 本キャリアを車両に取り付ける際に使用するホルダーセット（別売）は、車両ごとに専用開発されていますが、ホルダーセットの取扱説明書に記載されている車種以外にも、後から適用車種が追加される場合があります。キャリアの取り付け位置や締め付け具合等に関しまして、お客様の車両がホルダーセットの取扱説明書に記載されていない場合は、弊社のホームページを確認してください。ホームページにも掲載がない場合は『お客様相談窓口』までお問い合わせください。（連絡先につきましては、P15をご参照ください。）尚、本製品は取扱説明書に従って作業を行なってください。取扱説明書に記載されていない方法で作業を行ない不具合が発生した場合は、一切責任を負いかねますのでご了承願います。

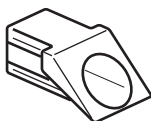
使用上のご注意

- 取り付け作業は、必ず2人以上で行なってください。
- キャリアにより、車両にキズを付けないよう充分注意して作業を行なってください。
- 本キャリアを使用する際ドアバイザーとの併用はしないでください。車種により併用できないものやホルダーと干渉する部分を切り取る等の加工をしなければならないものがあります。
- 車体のバラツキにより、ホルダーがドアに接触する場合があります。フットの位置を調整しても改善されず、接触がはなはだしい場合は、ディーラー等でドアヒンジの調整を行なってください。
未調整のまま使用すると、ドア塗装のはがれ等につながる場合があります。
- キャリアの取り付け、取り外し及び荷物の積み降ろしは、平らな場所で十分なスペースと安全を確保して行なってください。車両は、ギアをニュートラル又はパーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させて、キー（鍵）を抜いておいてください。
- 本キャリアは、スノーボード及びスキー板積載専用です。スノーボード及びスキー板以外は積載できません。
- スノーボード及びスキー板の厚さによっては、キャリアに積載できない場合があります。
- キャリアへのスキー板積載台数は最大6セット（総重量約45kg）ですが、取り付ける車両のルーフの強度により異なります。車両のルーフの強度に応じスノーボード及びスキー板を積載してください。
（最大積載量はTerzo車種別適用表にてご確認ください。）尚、ルーフの変形等につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。（本体総重量約8.2kg）
- スノーボード及びスキー板積載時、車両の全長×1.1倍以上、板やボードが車両後方に出ないように積載してください。
- 走行前及び走行後には必ず、ボルト類のゆるみがないか点検及び増し締めを行ない、ガタツキがない事を確認してください。ガタツキのあるまま走行すると、脱落の危険があります。
- 走行する際は積載物の有無にかかわらず、必ずキーロックしてください。
- キャリア装着時、最高速度は法定速度以下におさえ、急旋回、急ハンドル、急発進、急ブレーキを避け、運転には充分ご注意ください。特に、急カーブや悪路、強い風、向い風を受けるような場合は、運転特性を損なう事がありますので、スピードを充分おさえ、走りしてください。
- スノーボード及びスキー板積載時には、悪路等において過度な運転をすると車体のルーフが変形する恐れがありますので、絶対に過度な運転はしないでください。悪路走行時はスピードを充分におさえ、ゆっくりと走行してください。
- キャリア積載時、車高が高くなりますので、屋根付き駐車場、トンネル、高架等の高さ制限のある場所では、制限内であることを確認してください。又、木々の繁った場所での走行は充分ご注意ください。
- キャリア装着時には、洗車機での洗車はできません。洗車機での洗車により、キャリアのキズ付き、ルーフの変形、その他が起こる場合がありますのでご注意ください。
- サンプル仕様車にキャリアを装着した場合、サンルーフは使用しないでください。
- ホルダーセットによっては、下記部品が添付されている場合がありますが、本セットを車両に取り付ける場合は使用しませんので、ご注意ください。

■フット用スペーサー



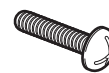
■アシストバー用スペーサー



■アシストブラケット



■スクリュー



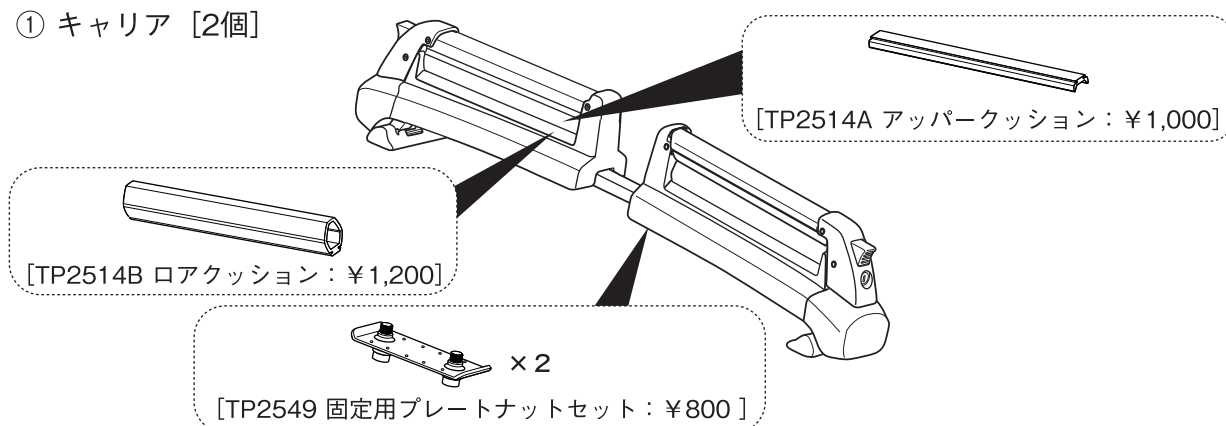
メンテナンスについて

- キャリアは防錆性に優れていますが、長くお使い頂く為に、メンテナンスを行なってください。
- キャリアの塗装及び、コーティングにキズ等が付きましたら、錆の発生の原因となりますので、タッチペイント等でキズ等を修正してください。
- 汚れを拭き取る場合は、中性洗剤を使用して柔らかい布かスポンジで拭き取ってください。尚、レザーワックス、タイヤワックス及びシンナー等、有機溶剤は使用しないでください。
- ボルト類は時々動かしてください。長時間放置しますと異物等の付着により、動かなくなる場合があります。

内容品

※梱包品が全部揃っている事を確認してください。足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 ※部品を紛失した場合は下記のTP番号で取り寄せできますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 尚、下記TP品番の表示価格は、すべて税抜き価格です。

① キャリア [2個]



② 取付ボルト [4本]

③ スプリングワッシャー [4枚]

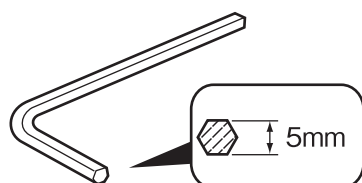
④ 角ワッシャー [4枚]



[TP2459 取付ボルト／ナット／ワッシャー各4個セット：¥2,000]

⑤ 六角レンチ [1本]

⑥ キー [2枚]



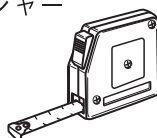
[TP1010：¥200]



[TPK" ###"：¥1,600 (2枚入り)]
 (#は英数字を表します。)

使用工具

- メジャー



[1] 取り付けの準備

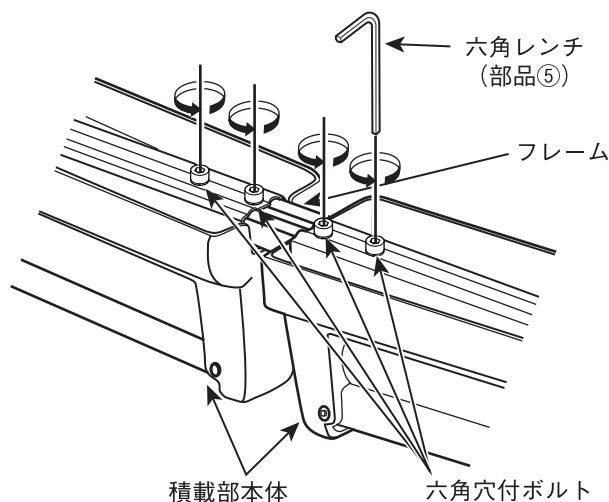
[1] ルーフの洗浄

車体のルーフの汚れ、ほこり等をきれいに落としてください。ほこり等が付着したまま、キャリアを積載するとルーフにキズが付く場合がありますのでご注意ください。

※ 別売のアンダーシート（EA19/P14参照）をご使用頂くと、ルーフのキズ付き防止に役立ちます。

[2] フレーム間寸法の調整

- (1) キャリア（部品①）裏側の六角穴付ボルト（4本）を六角レンチ（部品⑤）にて、積載部本体が動く程度までゆるめてください。



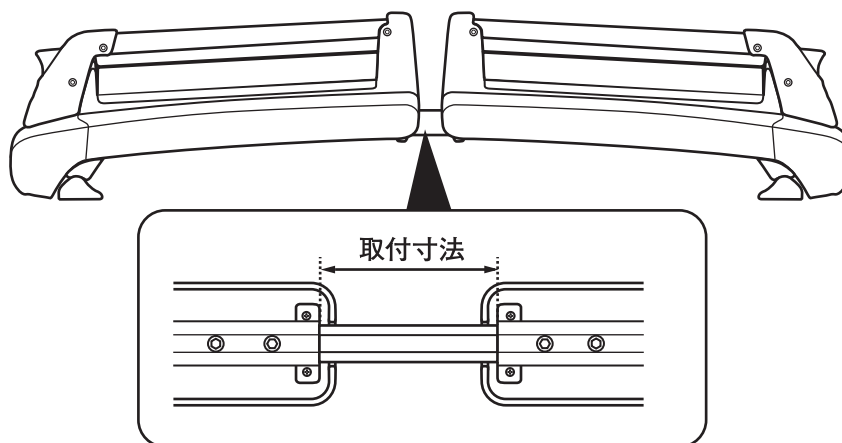
⚠ 注意

- 六角穴付ボルトをゆるめ過ぎると中に入っているプレートナットが外れる場合がありますので、2回転～3回転程度ゆるめてください。

チェック
ポイント!



- (2) キャリア（部品①）の取付寸法を下記方法にて確認してください。



- 別売のホルダーセットに添付されている取扱説明書の『適用車種別キャリア取付け位置』に記載されている、『スキー専用キャリア：SS102シリーズ』の寸法を確認してください。
- ① の記載がない場合は、弊社ホームページにてホルダーセットの取扱説明書を確認してください。

■ 取扱説明書ページ

[<http://www.piaa.co.jp/techman/?category=2&type=26>]

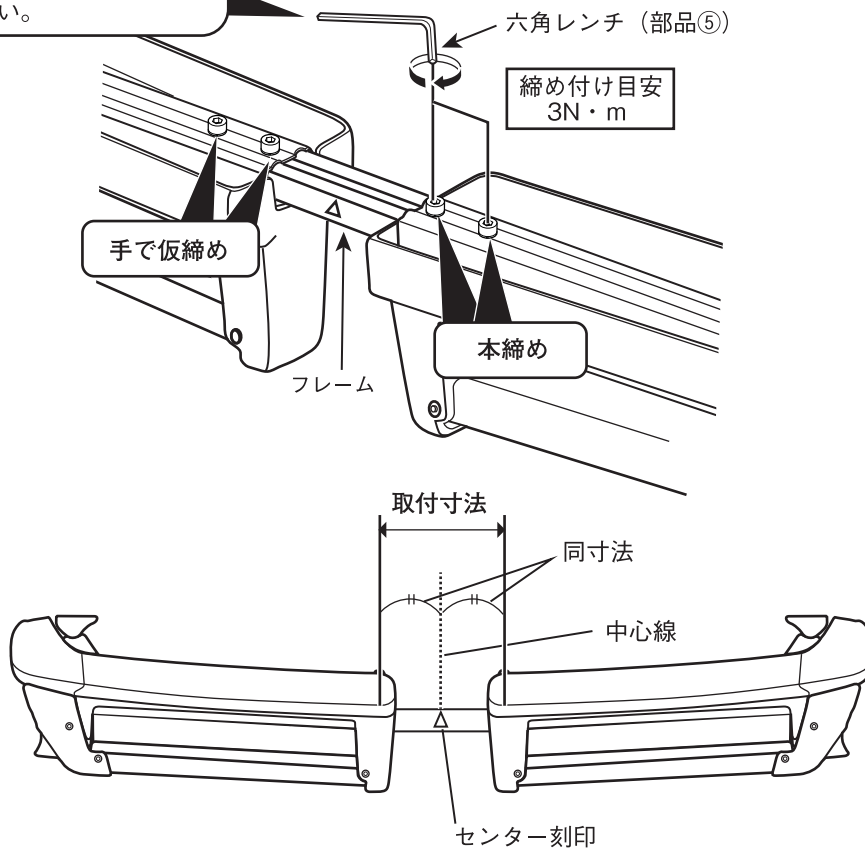


- 弊社ホームページにも記載が無い場合は、弊社『お客様相談室窓口』（P15に記載）までお問い合わせください。



(3) (2)にて確認した寸法に合わせて、キャリア（部品①）裏側の4本の六角穴付ボルトを、片側2本は六角レンチ（部品⑤）にてしっかり締め付けて本締めして、残りの2本は手で仮締めしてください。その際、フレームのセンター刻印が取付寸法の中心になるようにセットしてください。

長い方を持って締め付けてください。

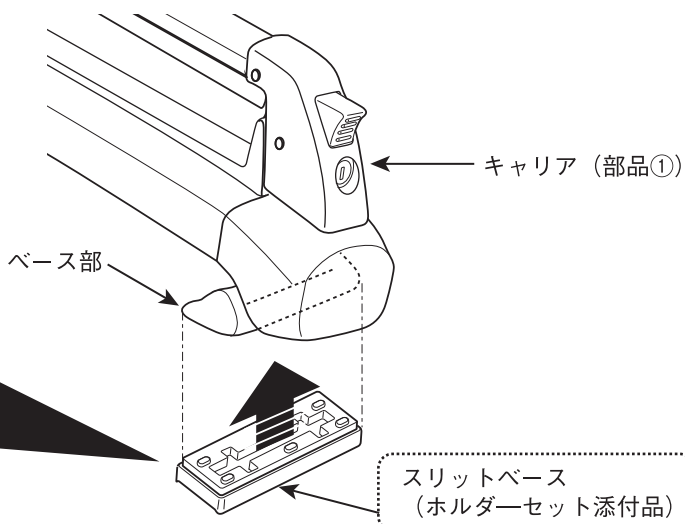
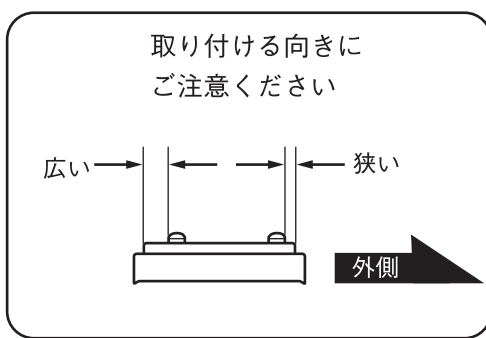


注意

● 積載部本体を左右に広げ過ぎると、フレームが外れて脱落してしまう場合がありますので、広げる際は、少しずつ広げて脱落しないようにしてください。

[3] スリットベースの取り付け

別売のホルダーセットに添付されているスリットベースをキャリアのベース部にしっかりと押し込んで取り付けてください。



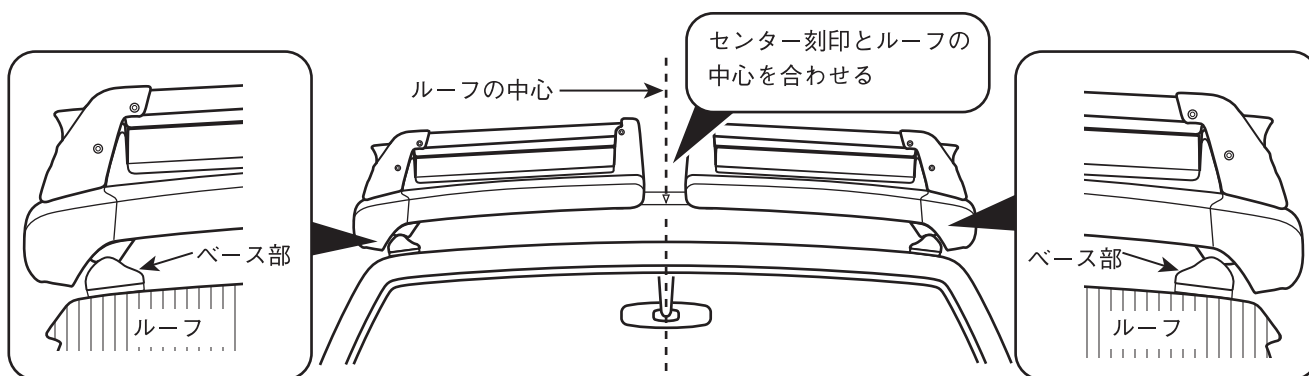
[2] 車両への取り付け

[1] キャリアの積載

チェック
ポイント!



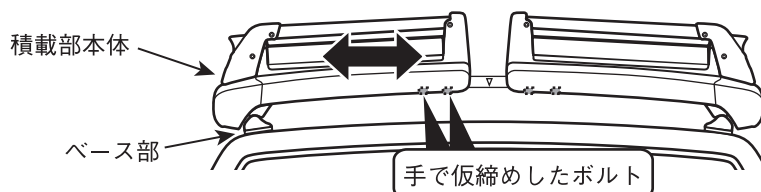
車両の正面から見て、キャリアの中心がルーフの中心となるように、キャリアをルーフの上に載せてください。キャリアのベース部を置く位置は、別売のホルダーセットに添付されている『車種別キャリア取付位置』を参照し、「スキー専用キャリア：SS102シリーズ」の置き位置に合わせてください。



⚠️ 注意

- キャリアをルーフに載せる作業は、必ず2人以上で行なってください。

※ ベース部を置く位置が『車種別キャリア取付位置』のイラストと異なる場合は、キャリア（部品①）裏側の手で仮締めした2本のボルトをゆるめて、『車種別キャリア取付位置』のイラストと同等になるように積載部本体の位置を調整してください。



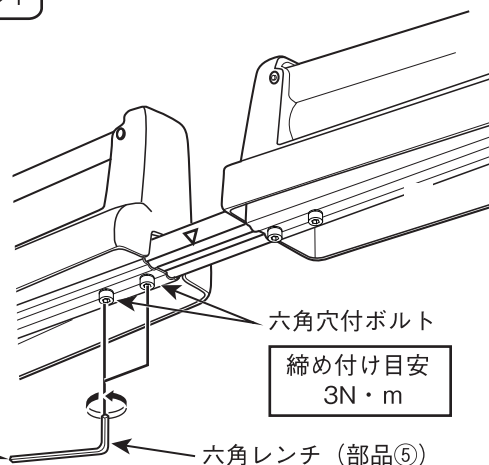
[2] フレームの固定

チェック
ポイント!



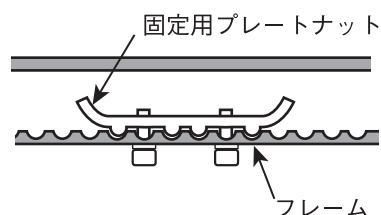
仮締めした2本の六角穴付ボルトを、六角レンチ（部品⑤）にて、しっかりと確実に締め付けてください。

長い方を持って締め付けてください。



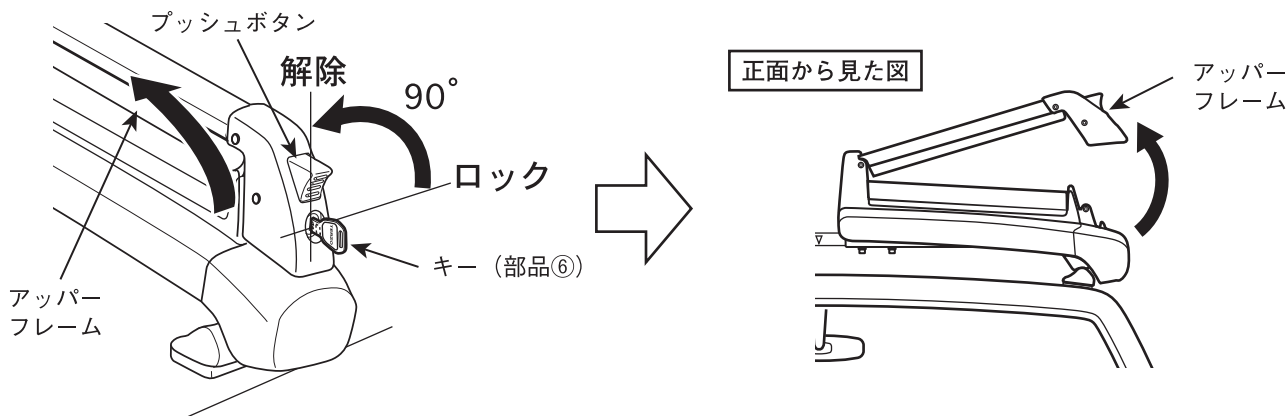
⚠️ 注意

- 積載部本体の内部とフレームの内部は右図のような構造になっており、フレームの内側にある凹部と、固定用プレートナットの凸部がしっかりと噛み合っている事を確認する為、ボルトを固定した後に積載部本体を左右に引っ張り、ズレない事を確認してください。ズレる場合は、ボルトを締め直してください。

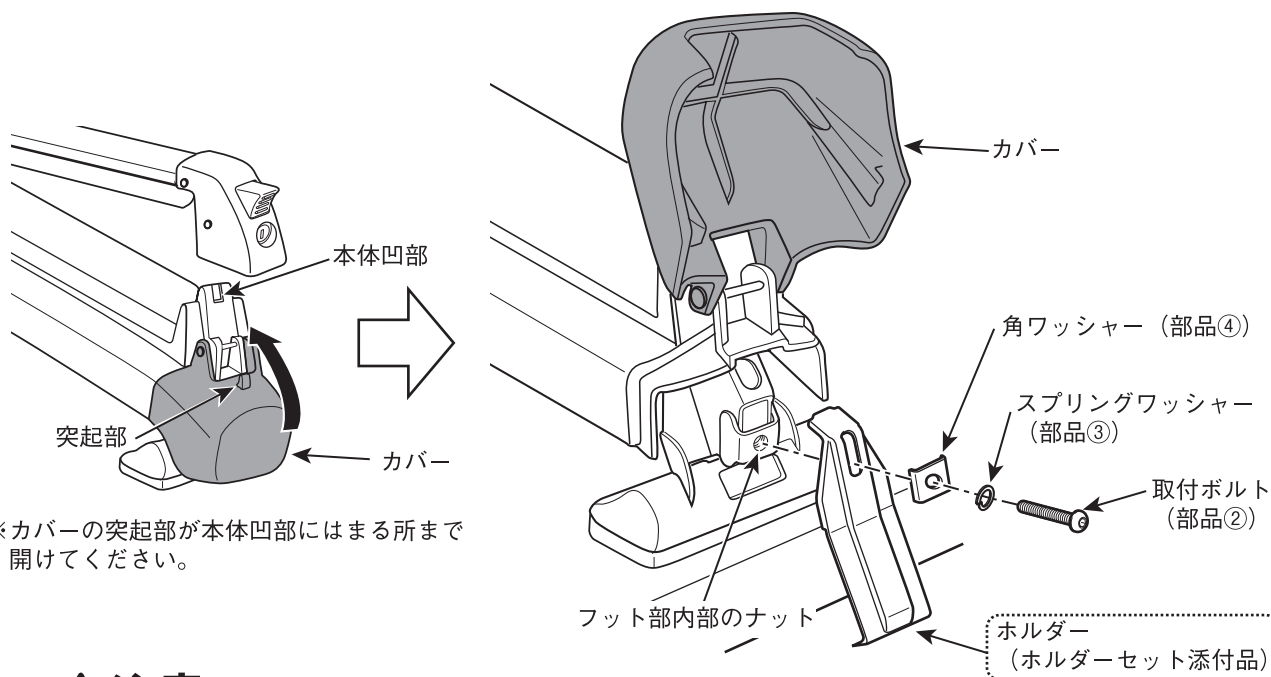


[3] ホルダーの取り付け

(1) キャリアのロックをキー（部品⑥）にて解除して、プッシュボタンを押してアップフレームを上げてください。



(3) 車両の左右のドアをいっばいに開け、キャリアの図の位置のカバーを開けてください。ホルダーセット添付のホルダーを車体に引っ掛けながらフット部にセットしてください。取付ボルト（部品②）に、スプリングワッシャー（部品③）、角ワッシャー（部品④）を通して、ホルダーの穴を通し、フット部内部のナットにねじ込み、ホルダーに軽くボルトの締め込み圧力がかかる程度に仮止めしてください。
 ※反対側も同時に、仮止めしてください。

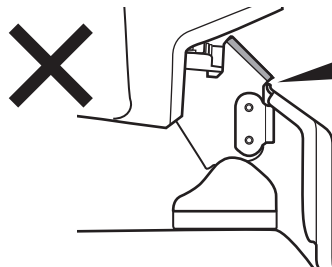
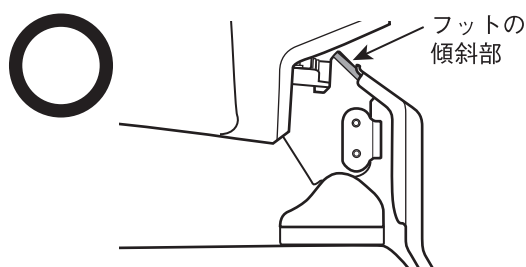


※カバーの突起部が本体凹部にはまる所まで開けてください。

△注意

チェックポイント!
5

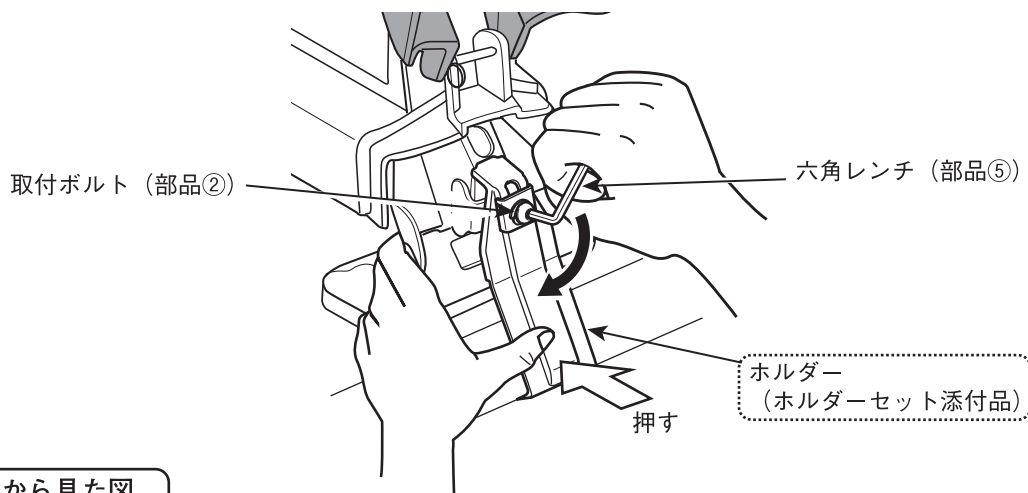
● ホルダーをセットする際、必ずホルダーの先端がフットの傾斜部に乗るようにセットしてください。



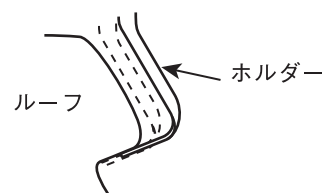
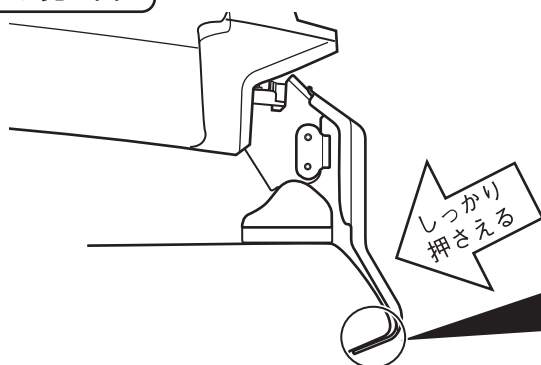
ホルダー先端がこの部分に入らないようにご注意ください。



- (4) 取付ボルト (部品②) を六角レンチ (部品⑤) にて、左右共均等になるように締め付けてホルダー (別売) を固定してください。
その際、ホルダー下部を手で押しながら取付ボルトを締めてください。



正面から見た図



取付ボルト (部品②) を締め付ける際、ホルダーの先端が上にずれないようにホルダー下部をしっかり押さえてください。

⚠️ 注意

- ホルダーの締め込み作業は必ず2人で行ってください。
- 取付ボルトは、左右均等に少しずつ締め付けてください。
- 左右均等にホルダーの締め付けをしないと、キャリア固定後、スリットベースが浮いてしまう場合があります。

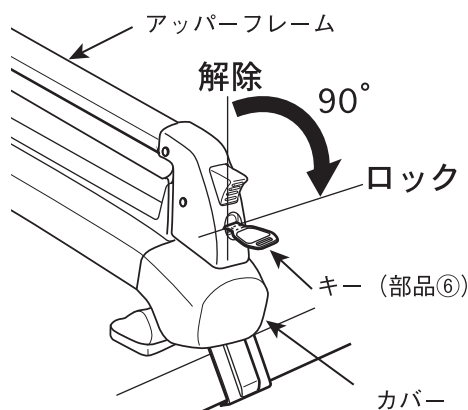
- ホルダーを取付ボルトにて固定する際、ホルダーセットの取扱説明書に記載されている『ホルダー締め付けトルク』を目安に、ホルダーを締め付けて頂いておりますが、トルクレンチがない場合は、右表を目安にホルダーの締め付け作業を行ってください。

■トルクレンチが無い場合の目安

ホルダー締め付けトルクの目安	ボルトの回転数
約 2N・m の場合	スプリングワッシャーが完全につぶれてから、約 1 回転程度
約 2.5N・m の場合	スプリングワッシャーが完全につぶれてから、約 1 回転 1/4 程度
約 3N・m の場合	スプリングワッシャーが完全につぶれてから、約 1 回転 3/4 程度
約 4N・m の場合	スプリングワッシャーが完全につぶれてから、約 2 回転程度
約 5N・m の場合	スプリングワッシャーが完全につぶれてから、約 2 回転 1/4 程度

- ホルダーを引っ張って外れないか確認してください。
外れてしまう場合は、ベース部の置き位置を車両外側にずらし、再度取り付けしてください。

- (5) ホルダー締め付け後、カバーとアッパーフレームを閉めて、キー（部品⑥）にてロックしてください。



⚠注意

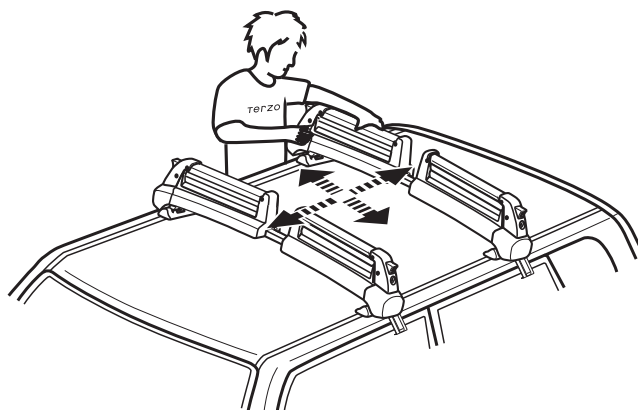
- カバーは少し強く押しつけて閉めてください。



[4] 取り付け状態の確認



- (1) キャリア（部品①）を軽くゆすり、キャリア及びホルダーにガタツキがないか確認してください。
ガタツキがある場合は、ボルト類の増し締めを行なってください。
又、キャリア（部品①）を外側に引っ張り、積載部本体とフレームの固定が確実であるかも確認してください。



⚠注意

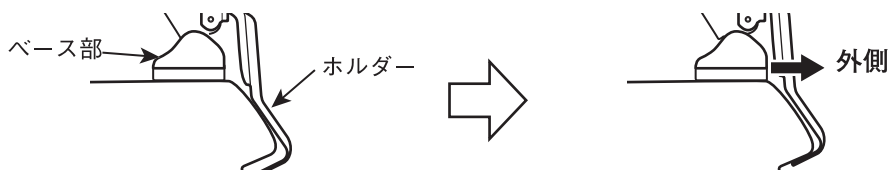
- ガタツキがあるまま走行すると、車両ルーフ及びキャリアの変形や脱落の恐れがありますので、必ずガタツキがない状態で走行してください。

- (2) ドアをゆっくり閉めて、ホルダーがドアに当たらない事を確認してください。
この時、多少触れる程度までは問題ありませんが、完全に当たっている場合は、以下の事が考えらるのでご確認ください。

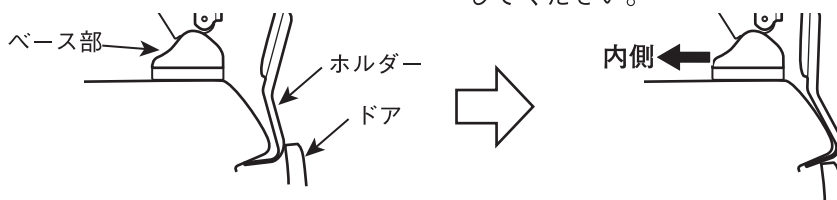
- a. ホルダーの適用が間違っている……………再度適用表にて車体形状（ドア枚数等）及び車検証の初年度登録年月と型式をご確認ください。
万が一異なっていた場合は、正規ホルダーをご購入ください。

- b. ベース部の位置が悪い

- ホルダーが車体側に当たっている場合…ベース部の位置を外側にずらし、調整してください。



- ホルダーがドア側に当たっている場合…ベース部の位置を内側（車体中心側）にずらし、調整してください。




- スリットベースが浮いてしまう場合……………ベース部の位置を内側（車体中心側）にずらし、調整してください。



- c. ドアが上がっている……………ディーラー又は修理工場でドアを下げてください。

重要！

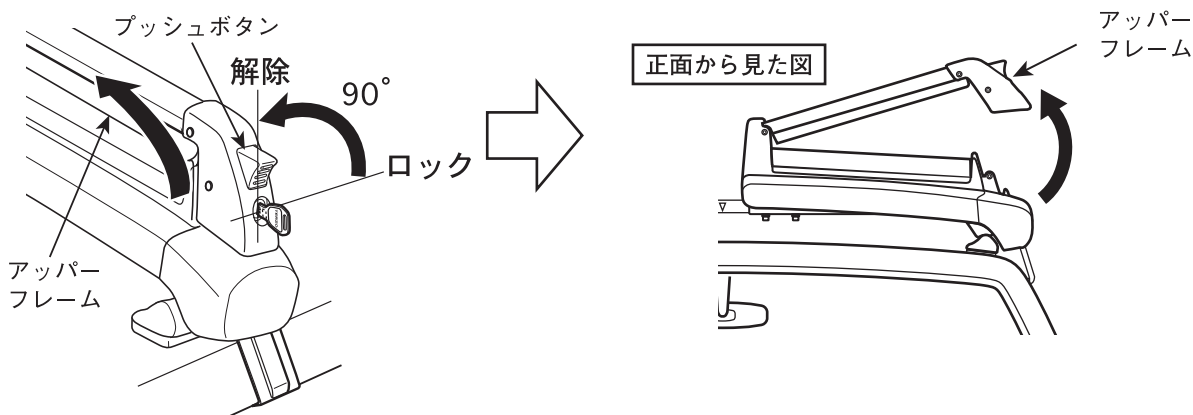
- (3) **【1】 取り付けの準備**、**【2】 車両への取り付け** にあるチェックポイントマーク 
1～7の作業が間違いなく行なわれているか確認してください。

- (4) 試験走行を行ない、各ボルト類にゆるみがないか確認してください。ゆるみが出た場合は、再度増し締めを行なってください。

[3] スノーボード及びスキー板積載方法

[1] スノーボード及びスキー板の積載

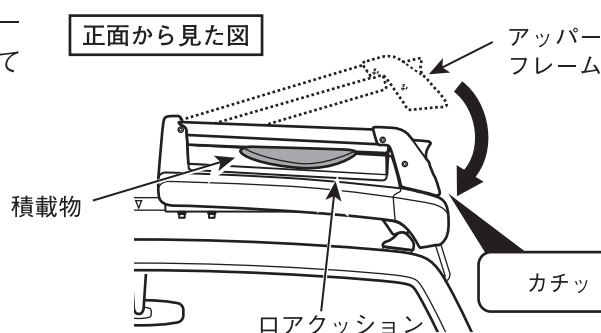
(1) キャリアのロックを解除して、プッシュボタンを押して、アッパーフレームを上げてください。



チェック
ポイント!

8

(2) 積載物をロアクッションの上に載せ、アッパーフレームを”カチッ”と音がする所まで閉じてください。



チェック
ポイント!

9


(3) アッパーフレームを上方向に引っ張って、確実に閉まっている事を確認してから、キー（部品⑥）でロックしてください。



⚠️ 注意

- 積載物が厚すぎる場合は、アッパーフレームがしっかり閉まらず大変危険です。後述の『【4】 スノーボード及びスキー板積載上のご注意』を読んで、積み方を変えてください。
- 走行する際は、スノーボード及びスキー板積載の有無にかかわらず必ずキャリアをキーでロックしてください。

重要!

(4) **[3] スノーボード及びスキー板積載方法** にあるチェックポイントマーク  **8~9** の作業が間違いなく行なわれているか確認してください。

【4】 スノーボード及びスキー板積載上のご注意

[1] 積載台数について

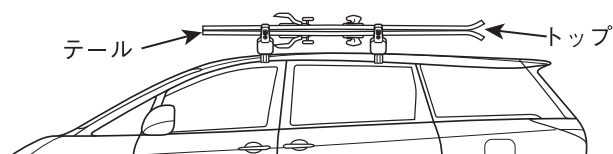
スノーボード及びスキー板は、最も積み易い種類の場合で、下記の数字が積載台数の目安です。但し、スノーボード及びスキー板の形状により、積載可能台数が減少する場合がありますので、後述の注意事項を良く読んでから積載してください。
過積載は危険ですので、絶対にお止めください。

最大積載台数・・・スキー板6セットまで（片側3セット） 又は スノーボード4枚まで（片側2枚）

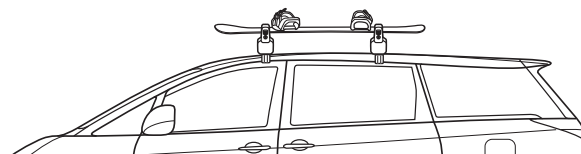
幅が広い板又は、ビンディングが大きい板は上記数量を積載できない場合があります。ビンディングがルーフに干渉する場合は、重ね積みではなく平積みにて積載してください。（重ね積みと平積みにつきましてはP13 [6] 積み方について（重ね積みと平積み）をご参照ください）

[2] 積載する向きについて

スキー板及び、スノーボード（アルペンボード）は、必ずテール（後端）を車のフロント方向に向けて積載してください。スノーボード（フリースタイルボード）は向きはどちらでも構いません。



スキー板及び、スノーボード（アルペンボード）
積載例

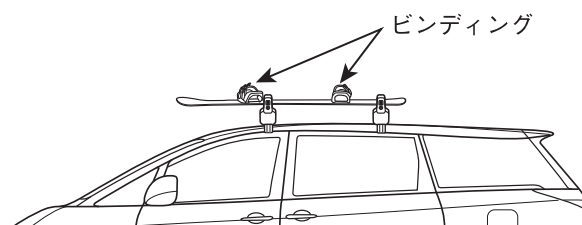
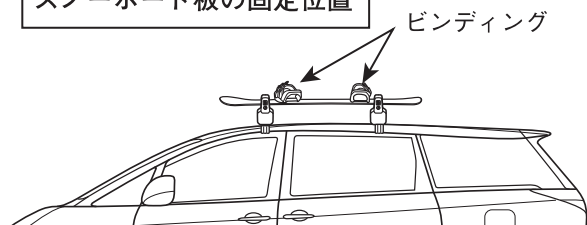


スノーボード（フリースタイルボード）
積載例

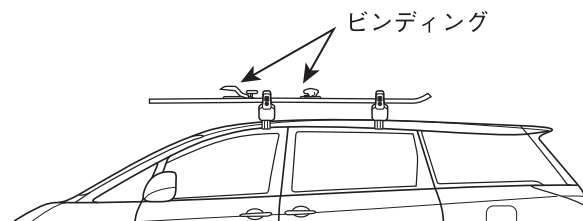
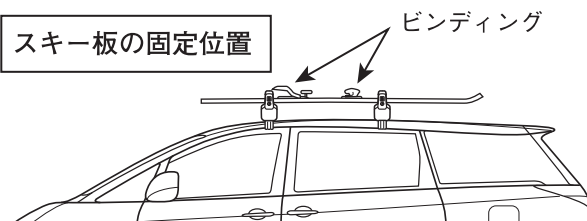
[3] 固定位置について

スノーボード及びスキー板は、ビンディングを前後のキャリアの内側に入れて固定してください。ビンディングの寸法により前後のキャリアの内側に入らない場合は、車両前方にずらして固定してください。

スノーボード板の固定位置

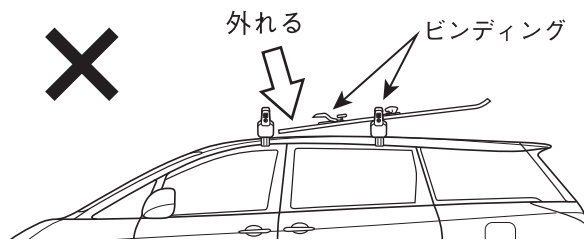


スキー板の固定位置



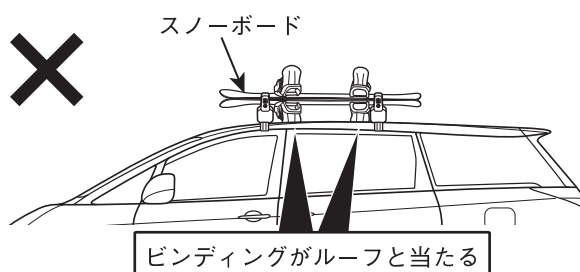
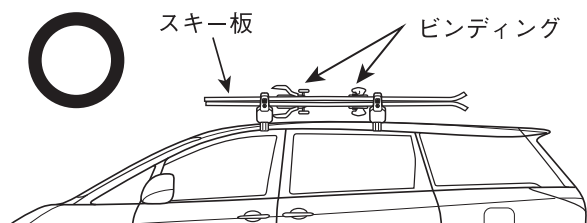
[4] 固定位置の確認

スノーボード及びスキー板が積載部から外れない事を確認してください。



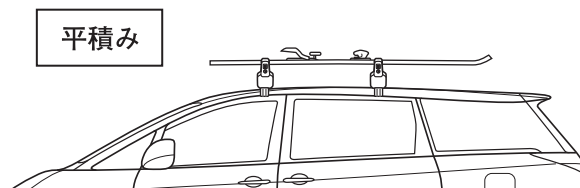
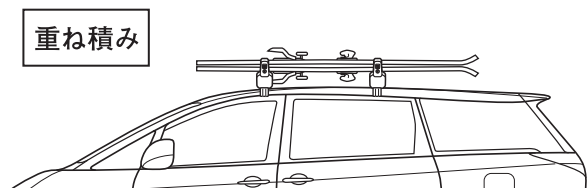
[5] ルーフとビンディングの接触

ビンディングを下に向けて積載する場合は、ビンディングがルーフに当たっていないか確認してください。当たる場合は、当たる板を上積みするか、平積みしてください。（平積みは後述の [6] を参照してください。）



[6] 積み方について

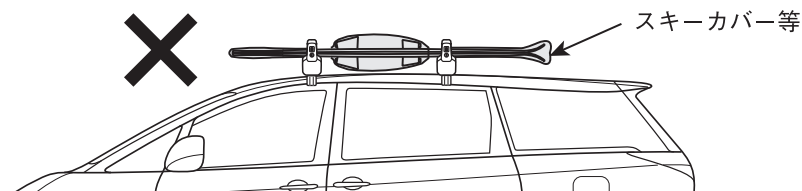
スノーボード及びスキー板の厚さによっては、重ね積み（滑走面どうしを合わせた状態）にすると、積載部がしっかりと閉まらない場合があります。その場合は、平積み（1枚積み）で積載してください。



[7] スキーカバーの使用禁止

スノーボード及びスキー板は、スキーカバー、ボードカバー（ソールカバー含む）及び、ビニール袋に入れたままでの積載はできません。

大きな風圧を受け、大変危険ですので、必ずカバーやビニール袋から出して積載してください。



【5】 スノーボード及びスキー板の降ろし方

スノーボード及びスキー板を降ろす場合は積載方法と逆の手順で降ろしてください。

【6】 キャリアの取り外し方法及び保管

1. 取り外し方法

キャリアを『【2】 車両への取り付け』とは逆の手順で車両から外してください。

⚠️ 注意

- キャリアにより、車両にキズを付けないよう充分注意して作業を行なってください。
- 外した部品は紛失しないようにしてください。
- キャリアを外して保管する場合は、きれいに清掃して水気のない場所に保管してください。

2. 再取り付け時のご注意

- 部品が全て揃っている事及び損傷がない事を確認してから本取扱説明書に従って作業してください。
- 万一、部品に異常が認められた場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

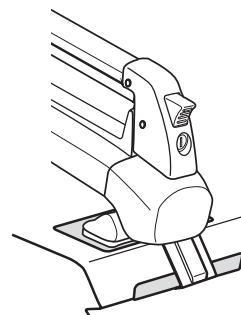
TERZO オプションパーツ

※価格は税抜きです

アンダーシート

車両ルーフ上のキズ付き防止に役立ちます。
※右図のように使用する場合はEA19が2セット必要です。

■ EA19 【ルーフオン用（170mm×70mm）4枚入り】 / ¥900



防水パッキン

取付ホルダーとドアの隙間から雨漏りする場合、防水パッキンを車体又はドアに貼り付ける事により、雨漏りを防止することができます。

■ TP2418 【1000mm×2本】 / ¥2,000



PIAA株式会社
お客様相談窓口

<http://www.piaa.co.jp>



0570-050-555

受付時間 10:00~12:00/13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)